

# 環境に係る情報協議会

## 国営農地再編整備事業 美唄地区

### 1. 事業の概要

#### ◆事業の目的

本事業は、ほ場の大区画化と併せて用排水路等の整備を行う区画整理と水田の地目変換による農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤を形成することにより農業経営の合理化を図り、農業振興を基幹とした地域の活性化に資することを目的としている。

#### ◆受益面積 3,007ha

◆主要工事計画（案）	区画整理	3,002ha
	農地造成	5ha
	用水路	2.8km(1条)
	揚水機	1箇所

### 2. 美唄市の環境に対する考え方

#### ◆農村環境の現状と課題

(美唄市田園環境整備マスタープランより)

##### 《現状》

○美唄市は自然林に囲まれた東部の丘陵地帯と石狩平野に属する西部の低地平野地帯に大別され、水田を中心とした田園風景が形成されている。地域には水鳥が生息する大小の湖沼があり、市の西部にはマガンなど渡り鳥の寄留地でありラムサール条約登録湿地の宮島沼がある。

##### 《課題》

○宮島沼周辺の環境整備や、農地周辺の野生生物の生息空間から近隣の樹林帯、さらに耕地防風林から山林への緑のネットワーク化及び、湖沼、河川など水のネットワーク化を図る必要がある。

#### ◆環境保全の基本的考え方

○宮島沼の豊かな自然環境と農村地域の緑のネットワーク、水のネットワークの保全と適正な活用を図り、人と自然が調和した環境づくりを進めていく。

(美唄市田園環境整備マスタープランより)

#### ◆環境保全目標・基本方針

○豊かな自然環境の保全や環境汚染の防止に努め、人と自然が共生できる環境づくりを目指し、水と親しむ環境として、河川や湖沼、ため池などに多様な生物が生息できるよう、生態系に配慮しながら、くつろぎのある水辺環境づくりを進め、農業農村整備事業もこれらの一翼を担っていく。

(美唄市田園環境整備マスタープランより)

### 3. 環境配慮対策（案）

#### ◆基本方針

本地域の河川や沼、排水路等の水辺及び防風林等の緑地には、希少種を含む多様な動植物が生息しており、事業実施にあたってはこれらの生息環境や景観に配慮した整備を進める。

特に、地域に点在する大小の沼は手つかずの自然が残された貴重な環境を有しており、魚類等の生息場や水鳥の飛来地として重要な水辺環境となっていることから、積極的に保全する。

#### I. 水辺環境の保全

##### ①沼の水辺環境保全

床止施設等による沼の水位維持のほか、各沼周辺の受益者において設立する管理組織により景観に配慮した沼の保全を図る。

##### ②魚類等の生息に配慮した排水路整備

二面張排水路構造や有孔トラフ構造により、砂泥底を確保する。

##### ③工事中の濁水流出対策

汚濁処理施設を設置する。

#### II. 緑地環境の保全

##### ④防風林の保全

鳥類等の生息環境や地域の農村景観に配慮し、区画整理による防風林の伐採は極力行わないようにする。